

---

# 経済 TOPICS

No. 197  
(2022年3月18日)

## 景気ウォッチング（要旨）

- 日本 … 設備投資が持ち直しているものの、消費や輸出が横這い圏内の動きとなっているほか、生産がやや弱めの動きとなっていることから、全体としては持ち直しの動きが足踏みしている。この間、新変異株の感染が続いているほか、ロシアのウクライナ侵攻に伴う資源価格の高騰などから企業収益への影響が懸念されるなど、先行き不透明感が一段と強くなっている。
- 米国 … 生産や輸出が緩やかに持ち直しているほか、消費や設備投資も回復していることから、全体としては回復を続けている。この間、消費者物価指数の上昇が続いている。
- 欧州 … 生産が横這いの動きとなっているものの、輸出や消費のほか設備投資が改善していることから、緩やかに持ち直している。この間、生産者物価の上昇が続いている。今後は、ロシアのウクライナ侵攻に伴う経済への下押し圧力の高まりが懸念されている。
- 中国 … 輸出は回復を続けているものの、不動産開発投資が大幅に減少し、消費の回復も鈍化していることから、全体としては回復テンポが減速している。また、不良債権問題の顕在化などにより、景況感の悪化傾向が続いている。この間、上昇が続いていた生産者物価が低下している。



京都銀行グループ

京都総合経済研究所

---